

# 目 次

巻頭言 第7代会長を経験して	第7代会長 渡邊 行彦	…………	1
会長就任秘話	第8代会長 星 忠行	…………	2
令和5年度定期総会報告		…………	3
JCOA県代表会議報告	会長 渡邊 行彦		
JCOA代議員会議報告	副会長 平澤 直之		
令和4年度活動報告及び令和5年度活動予定			
学術講演会	学術委員長 伊藤 公一		
会計報告	会長 渡邊 行彦		
会計監査報告	会計監査 荒川 重光		
	早船 徳子		
骨と関節の日について	副会長 原田 繁		
	副会長 平澤 直之		
資格継続のためのセラピスト研修会について	副会長 星 忠行		
オルソ会（会員親善ゴルフ大会）について	親睦委員長 浦川 圭二		
役員改選について			
骨と関節の日報告	副会長 平澤 直之	…………	7
資格継続のためのセラピスト研修会報告	会長 星 忠行	…………	8
第36回日本整形外科学会学術集会報告	小松整形外科医院 増谷 守彦	…………	10
OYAJI会報告	親睦委員長 浦川 圭二	…………	11
新入会員自己紹介		…………	12
	北水会記念病院勤務 出口 友彦		
	北水会記念病院勤務 日下部拓哉		
	いはら病院勤務 渡邊 新		
	あかおぎ整形外科クリニック 赤荻 博		
	しみず整形外科リハビリクリニック 清水 顕		
	岡田整形外科クリニック勤務 中村木綿子		
	植村整形外科クリニック勤務 西尾隆太郎		
	さかい整形外科 酒井 晋介		
	つくば村井整形外科クリニック 村井 伸司		
会員名簿		…………	17
編集後記	編集委員長 早船 徳子	…………	22



## 第7代会長を経験して

第7代会長 渡 邊 行 彦

平成30年9月、第45回JCOA茨城研修会の実行委員長の役割を終えて、令和元年6月より4年間茨城県臨床整形外科医会の会長を務めてさせていただきました。副会長の原田繁先生、星忠行先生、平澤直之先生、はじめ委員会の先生、事務局の渡邊由美子さん、会員の先生のご協力で、令和5年6月、無事に役を終えることができました。この場を借りて心底より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。これからも微力ではございますが茨城県臨床整形外科医会の発展のためにお手伝いをさせていただきます。

私の会長在籍中は、コロナ禍で自粛、自粛の毎日でした。やっと5類になり日常の生活に戻りかけた頃に、季節外れのインフルエンザの流行が始まりました。特に学童の罹患者が多く学級、学年閉鎖のところもあるようです。まだまだ気を抜けません。

最近、自院には熱発の患者さんが来ません。コロナ前は来ていましたが、コロナ禍の中、熱発患者の受け入れをしていなかったためか最近では皆無です。検査キットも有効期間が過ぎてしまっていて廃棄し、その後発注もしていません。熱発の患者さんは熱発外来、内科、耳鼻科などに来院して、完全に棲み分けができた気がします。そんなこともありストレスが少し減っています。

さて、これから人口減少が進む中、整形外科の方向性はどうすべきなのでしょう？まずは1200万人以上とも言われている骨粗鬆症はどうでしょうか。内科でも当たり前のように投薬さ

れています。ここで差別化をするにはどの様にすれば良いのでしょうか。1. リエゾンサービスを活用する。2. 骨塩定量検査を積極的に施行する。3. 血液検査で内服薬の選択、投薬の効果判定をする。4. 投薬では最近治療薬が大幅に増えているのでテーラードでの薬の選択をする。5. PT等による運動器リハビリテーションを実施して転倒防止、健康寿命を伸ばすことが考えられます。このようにいろいろとあると思います。そのほかでは整形外科の得意分野のリハビリテーションでの差別化はどうでしょうか。手術をする医療機関ではPT、OTは充足しているかもしれませんが、無床診療所はまだまだPT、OTは足りていません。運動器リハビリテーションを取り入れても良いかと思います。

しかし、心配な点があります。2年前でしょうか、国会でPTの開業権の法案が出されようとしていました。羽生田先生が尽力して下さり提出されなかったようですが、再度国会に出されようとしています。この法案が成立してしまうと医療機関で勤務するPT、OTが開業してしまい、特に整形外科にとって大変なことになってしまいます。注意深く様子を見ていかなければなりません。

今後、整形外科にとってバラ色の路ではないようですが、他科には整形外科のような大所帯の医会はありません、団結力は非常にあると思います。皆が協力、団結して進んでいければ道は開けると思います。星会長の下、御協力をお願いします。

# 会長就任秘話

茨城県臨床整形外科医会会長 星 忠行

本年（2023年）6月に茨城県臨床整形外科医会（ICOA）の第8代会長を拝命しましてから、半年が過ぎようとしております。これまで、渡邊彦前会長に敷いていただいていたレールの上で、本会の活動内容に基づいて、事務局の渡邊由美子さんの多大なご協力のもと、3名の副会長（原田繁先生、平澤直之先生、小宅雄一郎先生）の先生方と相談しながら、何とか仕事を進めてきました。とは言うものの、今でも私なんかが会長をやっていて良いものかと不安を感じながらの日々を送っております。

私と本会との出会いは、平成16年（2004）6月につくば市で開催された第17回日本臨床整形外科学会（JCOA）学術総会の際に、現在の上司であり、医局の先輩である小松満先生から“この会に演題を出して発表しろ”と命じられたのが、始まりでした。その頃、私は弘前大学整形外科学教室関連病院のひとつである富山県高岡市の病院に勤務しており、平成16年4月から地元の茨城県に戻り、現在の小松整形外科医院に勤務することになっておりました。当時から私は開業医意識が低く、手術と学会発表がメインで、外来は嫌々する義務とを感じるような勤務医意識の強い整形外科医でした（今も基本は変わりませんが）。その後も毎年JCOA学術集会に発表するのがこの会に関わる唯一の仕事と思って過ごしておりました。レセプトも見ることなく、当然診療報酬がらみの知識は全くなく、のほほんとした生き方をしておりましたら、約4年前に、出身高校（福島県立磐城高校）の先輩である渡邊先生が会長になれる直前の学術講演会の懇親会で、“今度副会長になってもらうから”と言われ、先輩に従順な私は断るすべもなく引き受け、まずセラピスト研修会の担当を命じられました。セラピスト研修会って何？のレベルの私はそこで始めてその研修会の意義、開催要項などを知ることになりました。副会長になってしまった私は茨城COA関連の会の動きを少しずつ理解するようになり、JCOA学術集会発表、JCOA関東ブロック役員

会出席、資格継続のためのセラピスト研修会担当が私の役割としておりました。

それから4年経ち、無防備でいた私に、再び渡邊先生から“次の会長をやれ”と“悪魔のささやき”を受け、この私にさすがに会長はやれるはずがないと断りましたが、原田先生は日整会関係で、平澤先生はJCOA代議員関係で忙しいからと言われ、何もやっていない！私に役目を回された形になりました。そして、本年6月の本会の総会で僅かな人数の拍手で決まったという、手続き上は会則に従った非民主主義的な就任となった次第です。

現在、本年10月には9名の先生に本会に入会していただき、茨城COAの会員は100名を超えました。これまで通り、①学術研修会（日整会教育研修講演）開催、②骨と関節の日の市民講座開催、③セラピスト研修会開催、④学校運動器検診・スポーツイベントへの協力、⑤JCOA学術集会・研修会への参加、⑥会員へのJCOAニュースの配信、⑦交通事故や労災保険に関する問題解決への取り組み、⑧診療報酬点数改正時の対応、⑨会員親睦ゴルフコンペの開催、⑩職員限定のレセプトの正しい請求の仕方の講習会などの活動を継続して行っていきたく思います。また、私を含めて特に新入会員の先生方に少しでも本会の歴史を知っていただきたく、ホームページ上にアーカイブの第一号として茨城COA20周年記念誌を掲載しましたのでご覧いただければ幸いです。

withコロナの時代になり、現地は少人数でWeb講演が中心だったハイブリッド開催の講演会から、やっと対面での会合もできつつあります。今後可能な限り懇親会を加えた学術講演会の開催を増やして、会員相互の理解を深められたらと思っています。これからも会員の皆様からのご意見をいただきながら、少しでもメリットになるように本会の活動を進めていきたく思いますので、引き続きご協力の程宜しくお願い致します。

令和5年12月

# 茨城県臨床整形外科医会 令和5年度定期総会報告

令和5年6月10日（土）午後4時から水戸京成ホテルに於いて、定期総会を開催しました。渡邊会長から「最近はコロナが5類に移行しましたが、まだまだ安心はできないので、引き続き感染予防をしてください。」との挨拶で開会しました。

以下、報告事項です。

## 【JCOA各県代表会議】 2023.5.28 （渡邊会長）

運動器検診は、年々減少している。アンケート調査に協力してほしい。内訳は側弯症疑いが最も多く8割位。受診症例は20例以下が多く、経過観察がほとんどだが4例は手術に至っている。

PT,薬剤師等が開業権を持てる痛み法案が国会に提出されそうになった。これが通過すると柔整の様に開業できるものである。今回は水際で留められた。引き続き監視していく。

## 【代議員会報告】（平澤副会長）

SLOCの会員を集めること、名誉会員等の表彰などの話があった。荒川先生が名誉会員に選ばれた。おめでとうございます。

## 【令和4年度活動報告及び令和5年度活動予定】

- (1) 学術部 伊藤公一委員長……………資料-1
    - 1) 令和4年度報告9つの学術講演会+2つの30分の小講演会  
関東ブロックと総会是对面のみ。それ以外はハイブリッドで行われた
    - 2) 令和5年度予定 現在までに3つの学術講演会が行われた。これからあと2つ予定されている。最終的には昨年同様の講演会を開催する予定である。  
セラピスト研修会と同時に学術講演会の開催を予定。最大4単位取得可能
  - (2) 会計報告 渡邊行彦委員……………資料-2
  - (3) 会計監査報告 監事：荒川重光 早船徳子……………資料-3
  - (4) 骨と関節の日について 原田繁副会長 平澤直之副会長  
令和4年度は未開催  
令和5年度は開催の予定である。  
今年のテーマは「骨粗鬆症による脆弱性椎体骨折とロコモー整形外科医の役割―」  
水戸地域：10月8日に水戸メディカルカレッジ講堂  
つくば地域：10月15日
  - (5) 資格継続のためのセラピスト研修会について 星忠行会長  
令和4年度は未実施  
令和5年度は12月に開催予定。例年通り4単位。
  - (6) オルソ会 浦川圭二会員親睦委員長  
令和4年11月27日（日）大洗ゴルフクラブで開催された  
令和5年度も同じ時期、大洗で開催予定 名称はORTHO会となった
- 4 役員改選について  
任期満了に伴い会長には星忠行先生が就任した。副会長以下の選任は星新会長が行う。

## ＜令和4年度茨城臨床整形外科医会学術研修会＞

資料1

- ◆第1回 令和4年6月4日（土）水戸京成ホテル  
 演題：変形性膝関節症に対する関節温存の試み  
 演者：東京医科歯科大学 大学院運動器外科学分野 教授  
 古賀 英之 先生
- ◆第2回 令和4年7月21日（木）水戸プラザホテル 【ハイブリット開催】  
 演題：股関節唇損傷に対する診断と治療（30分）  
 演者：北水会記念病院 整形外科  
 齊藤 昌愛 先生  
 演題：頸髄症手術後に遺残する手のしびれおよび術後疼痛への対策  
 ～中枢性神経障害性疼痛の関与～ [7]、[SS]  
 演者：東京大学大学院医学系研究科 整形外科学 准教授  
 大島 寧 先生
- ◆第3回 令和4年9月15日（木） 【ウェブ開催】  
 演題：股関節学的考察：ネアンデルタール人はなぜ絶滅したのか？  
 ～PTH製剤は人類の絶滅を防ぐことは可能か～  
 演者：茨城県立中央病院 整形外科部長  
 林 宏 先生
- ◆第4回 令和4年10月13日（木）ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸 【ハイブリット開催】  
 演題：慢性運動器と疼痛の薬物療法 ―内科医の観点から―  
 演者：田尻ヶ丘病院 腎臓内科  
 鶴岡 秀一 先生
- ◆第5回 令和4年11月15日（木） 【ウェブ開催】  
 演題：脊椎疾患における疼痛への治療戦略  
 演者：札幌円山整形外科病院 院長  
 竹林 庸雄 先生
- ◆第6回 令和4年12月7日（水）水戸プラザホテル 【ハイブリット開催】  
 演題：肩関節疾患に関して（30分間）  
 演者：水戸赤十字病院 整形外科部長  
 埜口 博司 先生  
 演題：整形外科領域における神経障害性疼痛を再考する  
 演者：浜松医大 整形外科学講座 教授  
 松山 幸弘 先生
- ◆第7回 令和5年1月28日（土）日本工業倶楽部  
 第55回 日本臨床整形外科学会 関東ブロック研修会  
 演題：小児下肢変形の診断と治療  
 演者：東京医科大学茨城医療センター 整形外科 教授  
 石井 朝夫 先生  
 演題：新技術から展開する新たな整形外科治療

—運動器疼痛に対する治療を含めて—

演者：筑波大学 医学医療系 整形外科 教授  
山崎 正志 先生

◆第8回 令和5年2月3日（金）水戸プラザホテル

【ハイブリット開催】

演題：腰部脊柱管狭窄症の診断と治療

—新たなエビデンス：MiroTAS試験も含めて—

演者：福島県立医科大学 整形外科学講座 准教授  
二階堂 琢也 先生

◆第9回 令和5年3月16日（木）水戸三の丸ホテル

【ハイブリット開催】

演題：見逃しやすい脊椎疾患 外来診療のピットホール

演者：水戸済生会総合病院 整形外科 部長  
野村 真船 先生

＜令和5年度茨城臨床整形外科医会学術研修会＞

◆第1回 令和5年4月20日（木）ホテル・ザ・ウエストヒルズ水戸

【ハイブリット開催】

演題：関節リウマチ治療におけるMTXを再考する

演者：オアシス内科リウマチ科クリニック 院長  
太田 修二 先生

◆第2回 令和5年5月18日（木）ホテルレイクビュー水戸

【ハイブリット開催】

演題：発育性脊椎疾患と骨脆弱性脊椎疾患の診断と治療（30分）

演者：水戸協同病院 整形外科 准教授  
辰村 正紀 先生

演題：発育性股関節形成不全 診断と治療の基本

演者：愛正会記念茨城福祉医療センター 副センター長  
伊部 茂晴 先生

◆第3回 令和5年6月10日（土）水戸京成ホテル

茨城県臨床整形外科医会総会

演題：関節リウマチ治療のこれから ～さらなる向上を目指して～

演者：国立病院機構名古屋医療センター 整形外科 医長  
小嶋 俊久 先生

◆第4回 令和5年7月13日（木）ホテルレイクビュー水戸

【ハイブリット開催】

演題：当院における骨粗鬆症治療及び多職種による  
二次性骨折予防の取り組みについて

演者：一般社団法人巨樹の会 所沢明生病院 整形外科部長  
安岡 宏樹 先生

◆第5回 令和5年8月31日（木）水戸プラザホテル

【ハイブリット開催】

演題：運動器疼痛に対する薬物療法と下行性疼痛抑制系

演者：JCHO佐賀中央病院 副院長  
園畑 素樹 先生

## 令和4年度茨城県臨床整形外科医会収支決算書

資料2

歳入総額	9,922,655
歳出総額	3,388,492
次年度繰越額	6,534,163

## 歳入の部

項目	本年度決算額	備考
前年度繰越金	6,096,594	
会員年会費	3,530,000	R5 2名分含む
教育研修会単位取得料	296,000	
雑収入	61	預金利息
計	9,922,655	

## 歳出の部

項目	本年度決算額	備考
本部年会費	2,382,000	24,000 × 98名 新入会費 10,000 × 2名
関東ブロック会費	98,000	1,000 × 98名
会議費	20,240	総会会場費
役員会費	36,500	
教育研修費	40,000	
骨と関節の日旅費	0	
広報費	307,267	広報紙、インターネット
役務費	21,001	振込手数料、通信費等
備品費	0	
需用費	53,984	FAX リース料、事務用品等
慶弔費	56,500	
負担金	13,000	ロコモ
事務局賃金	360,000	
計	3,388,492	

## 監査報告書

資料3

令和4年度茨城県臨床整形外科医会歳入歳出決算（一般会計、特別会計）について、関係帳票・書類に基づき監査を実施した結果、正確に処理されていることを認めます。

令和5年5月25日

茨城県臨床整形外科医会

監事 荒川重光 ⑩

監事 早船徳子 ⑩



## 2023年度 骨と関節の日（水戸会場） 報告

北水会記念病院 平澤直之

茨城県COAの先生方におかれましては平素より大変お世話になっております。

さて、例年10月第2週に開催していた骨と関節の日の市民講座ですが、新型コロナウイルスのあおりを受け、2020年～2022年の3年間は開催を断念しておりました。感染状況が下火になり、社会情勢としても従来の日常を取り戻してきたと判断されたため、昨年10月8日に水戸メディカルカレッジ講堂で開催するにいたしました。

JCOAより、昨年のテーマとして挙げられたのは「骨粗鬆症による脆弱性椎体骨折とロコモ～整形外科医の役割～」でした。大正製薬さんにご協賛を賜り、星会長に座長の労をとっていただき、嶋崎病院 整形外科 岩堀智之先生より「どうする腰痛？～脆弱性椎体骨折を中心に～」、秋山クリニック 久保木通理学療法士より「知ってるだけでも予防になる ロコモティブシンドローム」につきまして講演をしていただきました。6月に開催が決定されたものの、

初動の遅れは否めず、地域への周知が遅れたこともあり例年の半分程度である40人弱の参加者となりましたが、岩堀先生からはJCOAのテーマに則した脆弱性椎体骨折の予防について非常に分かりやすく、かつ丁寧なご指導をいただきました。また久保木理学療法士からも、運動療法や理学療法的重要性を親しみやすい内容で解説していただきました。

終了後の個別相談は、星会長、小宅副会長、岩堀先生、私の4名で行いました。参加者が少なかったこともあり、特にトラブルもなくスムーズに終了することができました。

今後もSLOC（ストップザロコモ）の活動の一環として引き続き骨と関節の日の講演を続けてまいります。次回も10月吉日に同じ水戸メディカルカレッジでICOAの先生にご講演をいただく予定です（講師は未定です）。本年は初動を早め、参加者も倍増を目指します。先生方におかれましてはご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



## 令和5年 第11回資格継続のためのセラピスト研修会報告

小松整形外科医院 星 忠行

令和5年12月3日（日）茨城県医師会4階会議室で資格継続のためのセラピスト研修会が開催されました。この研修会は認定セラピスト継続の為に単位取得（5年間で12単位：現在コロナ禍の影響で10単位に引き下げ中）をしていただく目的で、4単位取得可能な会として、原則隔年開催しております。一昨年はコロナの真只中での開催でしたので、参加者が例年になく少なく、ご講義いただきました4名の先生方には大変申し訳ない気持ちでした。今回は渡邊前会長のご助言もいただき、初の試みとして、茨城県臨床整形外科医会学術講演会も兼ねて、整形外科の先生方にも単位取得が可能な会にし、参加者を増やそうと考えました。学術担当の伊藤公一先生に日整会への申請をお願いし、日整会教育研修単位4単位認定の会となり、茨城

COAの会員以外の近隣の整形外科勤務医の先生方にも可能な限り会のお知らせをして参加をお待ちしました。

結果は、セラピスト研修会参加者33名（会員医療機関21名、非会員医療機関12名）、整形外科医13名と46名の参加者になりました（写真1）。非会員医療機関からの参加者は埼玉、山梨、栃木、東京、北海道（北見）の県外からの参加でした。

研修会（講演会）の内容はチラシを掲載しましたが（図1）、弘前大学のリハビリテーション医学講座の津田英一教授、茨城西南医療センターの市村晴充整形外科部長、水戸協同病院の万本健生准教授、霞ヶ浦医療センターの吉沢知宏先生と各分野のスペシャリストの先生に、大変興味深いお話を聴かせていただきました。リ



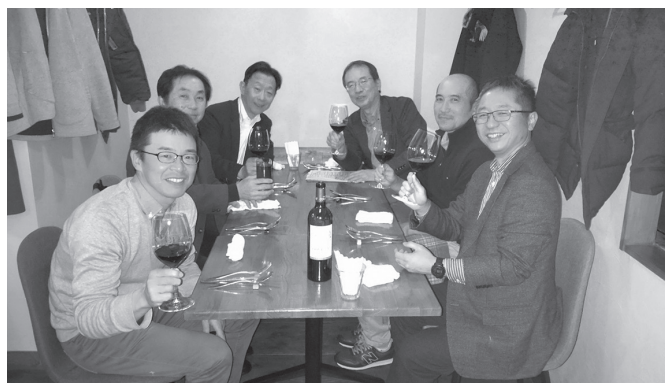
（写真1-a）  
熱の籠った講義に耳も目も釘付けです



（写真1-b）受講者が46名集まりました

ハビリテーション関連ということで、各先生方には講演内容に大変ご苦労された印象を受けましたが、動画を含めてわかりやすい内容のご講演でした。会場からの質問が少なかったのが残念でしたが、聴衆の皆様にはご満足いただけたかと思います。

裏話ですが、実は前日（12/2）に演者の先生方に前夜祭と称して、ワインを大分遅くまで吞ませてしまいました。演者の先生方には当日辛かった先生もいらしたかと思いますが、皆様頑張って講演いただきましたことに感謝いたしま



(写真2) 演者の先生方と

す (写真2)。

最後に座長を務めていただきました佐藤理行先生、平澤直之先生、小宅雄一郎先生、受付・

会場運営など終日お世話になりました茨城県医師会の檜山さん、久光製薬の関根さん、田中さん、事務局の渡邊由美子さんの多大なご協力に感謝いたします (写真3)。

今回は2年後になりますが、開催形式は今回の研修会の結果を踏まえて、収支なども検討して今後決めていきたいと思えます。今後とも会員の皆様のセラピスト研修会へのご理解、ご協力宜しくお願い致します。



(写真3) セラピスト研修会と学術講演会受講者の受付は別々に

**令和5年度茨城県臨床整形外科医会学術講演会  
兼 資格継続のためのセラピスト研修会**

日時：令和5年12月3日（日）  
会場：茨城県医師会 4階会議室  
（水戸市笠原町489）

日整会単位  
4単位とれるよ!

**講義1** 10:00-11:00 座長 星 忠行 先生(小松整形外科医院 副院長)  
**津田 英一 先生**  
弘前大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座 教授  
「スポーツ障害とリハビリテーション」  
(S)スポーツ単位 [2]外傷性疾患[13]リハビリテーション

**講義2** 11:10-12:10 座長 佐藤 理行 先生(さとう整形外科クリニック 院長)  
**市村 晴充 先生**  
茨城西南医療センター病院 整形外科部長  
「上肢外傷のリハビリテーション」  
(Re)運動器リハビリテーション単位 [9]肩甲帯・肩・肘関節疾患[10] 手関節・手疾患

☆☆☆☆☆☆☆☆ 休憩 12:10 - 13:00 ☆☆☆☆☆☆☆☆

**講義3** 13:00-14:00 座長 平澤 直之 先生(北水会記念病院 病院長)  
**万本 健生 先生**  
筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター  
茨城県厚生連総合病院水戸協同病院 整形外科准教授  
「下肢外傷のリハビリテーション」  
(Re)運動器リハビリテーション単位[12]膝・足関節・足疾患[13]リハビリテーション

**講義4** 14:10-15:10 座長 小宅 雄一郎 先生(勝田整形外科医院 院長)  
**吉沢 知宏 先生**  
国立病院機構 霞ヶ浦医療センター 整形外科  
「骨粗鬆症患者の外傷治療とリハビリテーション」  
(Re)運動器リハビリテーション単位[4]代謝性疾患[11]骨盤・股関節疾患

日本整形外科学会認定単位取得をご希望の方は、受講料とは単位につき、1000円申し受けます。  
最大4単位まで取得可能です！  
日整会会員カードは必ずご持参ください。  
学術講演会参加者の昼食のご用意はございませんが弁当を希望される場合は下記事務局に  
11/27（月）までにご連絡ください。

茨城県臨床整形外科医会 事務局 渡邊由美子  
TEL 029-243-5701 / FAX 029-243-6530E-mail : office@icoa-m.jp

(図1) プログラム

## 第36回日本臨床整形外科学会学術集会に参加して

小松整形外科医院 増谷守彦

近年は体に応えるほどの酷暑が続く7月、海の日に毎年開催されるJCOA学術集会に参加して参りました。今回は千葉県臨床整形外科医会が主幹で会場は幕張メッセ国際会議場でした。学会名は「Go to the future from Chiba」で、テーマとしては「健康増進は運動器から」－エビデンスを求めて－というものでした。健全な運動機能の維持が健康増進に影響を及ぼすということをお訴える上でエビデンスの積み重ねが大切だということのようです。

私は水戸市に住んでいますので会場まで2時間ちょっとで比較的近いのですが、朝からの発表でもあり、せっかくなので1泊小旅行と洒落込みました。宿泊は会場に直結しているホテルということで、会場入りが楽でした。その県を訪れることが初めてという場合、これまでは発表以外でも学会の合間に名所観光を楽しんで見聞を広げることにも力を入れていましたが、今回は自分の出身地である千葉県ということもあり特別に観光でもなく、胸踊らせることもありませんでした。その分学会に集中できた？ようです。

学会発表についてですが、プログラムにさっと目を通してもおわかりのように主催である千葉県からの発表が圧倒的で、その**整形外科医療水準と意識の高さ**、更には協力体制とまとまりに感服いたしました。学会参加者数は1000名を超えるほどで盛況であったと聞いています。

今後の日常診療に役立つ内容の発表が非常に多く、臨床現場での日頃の問題に対する答えの

ヒントになるかもしれません。

一方茨城県からは教育研修講演として筑波大学整形外科教授の山崎正志先生のロボット医療工学についてのご講演がありました。

発表演題は以下の合計7題でした。

さとう整形外科クリニックの宮坂拓汰先生脊椎関連1題、北水会記念病院から平沢直之先生股関節関連2題、仲山勉先生膝関節関連1題、齊藤昌愛先生股関節関連1題、小松整形外科医院から星忠行先生膝関節関連1題、著者の鎖骨遠位端骨折関連1題でした。

茨城県の先生方、来年の臨床整形外科学会は熊本で開催されます。震災で話題になった熊本城も訪問できます。熊本観光で微力ながら地域復興にも協力できると思います。そのついでに次回の学術集会にご参加され、ご発表いただけますと学術的な啓発にもなり茨城県臨床整形外科医会がもっともっと盛り上がり、活発な交流にも繋がっていくのではないのでしょうか。よろしくごお願い致します。



# OYAJI会ゴルフ (2022年11月27日)

勝田病院 浦川圭二

小野瀬先生から長年続いたオヤジ会ゴルフの幹事を不祥、私 浦川が引き継ぎました。オルソ会ゴルフと改名することを参加者の皆様からご了承をいただきましたので、次回よりオルソ会ゴルフとして開催します。

会場を大洗ゴルフ場に変更して開催しました。

晴天に恵まれ楽しいゴルフができました。参加していただいた先生たちに感謝申し上げます。

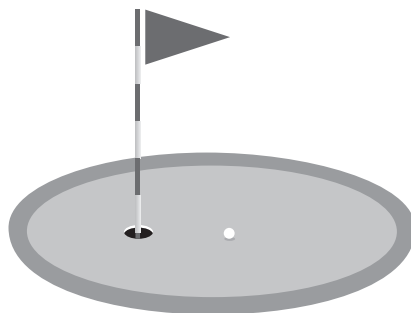
次回も大洗ゴルフ場にて2023年2月25日日曜日にオルソ会ゴルフを開催予定しています。皆様の参加をお待ちしております。

大洗ゴルフクラブ

## OYAJI会

2022年11月27日(日)

順位	競技者名	GROSS	HDCP	NET
優勝	小野瀬 好 良	98	24.0	74.0
準優勝	青 山 広 道	91	16.8	74.2
3 位	林 龍 生	88	12.0	76.0
4 位	小 松 史	98	20.4	77.6
5 位	石 井 嗣 夫	94	15.6	78.4
6 位	浦 川 圭 二	103	24.0	79.0
7 位	小 宅 雄一郎	107	27.6	79.4
8 位	木 村 郁 夫	99	19.2	79.8
9 位	平 澤 直 之	108	27.6	80.4
10 位	渡 邊 行 彦	111	30.0	81.0











過ぎて不安もありますが、、、。

バスケットを継続するためにも、体力づくりに外を走ったりもしていますが、膝は過去にバスケットでACLを両側切って再建もしており、半月板の調子も良くないので、長くても5kmまでと決めています(笑)。最近ではchocoZapという月額¥3000!で通い放題のライザップのコンビニジムにも通い、筋トレにも励んでいます。そうして体調体形管理をないと大好きなお酒が飲めなくなってしまいますので…とても大切です。家庭では、幼少期からの様々(犬・猫・九官鳥・カラス・インコ・文鳥・ヒヨドリ・フェレットetc.)なペット歴を経て、現在はたれ耳のうさぎと生活しています。うさぎは名前を呼ぶと走ってきますし、ふかふかで温かく、撫でてほしくて足の上に挟まってくるのでそのままTVを見たりお酒を飲んだり。草食動物の特性で体臭がほぼなく、必要な運動量も多くない。そして大きな声で吠えたりはできないので、飼いやすい動物かもしれません。しかしとても繊細なので、ちょっとしたことで体調を崩しやすいということもあり、部屋の温度管理もかかせないため、うちの光熱費はほぼうさぎのためにあると言っても過言ではありません。でもほんと、かわいいんです…早く家に帰りたくなります。

原稿を書いている私の横で、ぷーぷーとかわいいびきをかいてべろんと伸びて寝ているうさぎのももたろう共々、よろしく願いいたします。



## 植村整形外科クリニック勤務

### 西尾 隆太郎

このたび7月に新規入会いたしました、東海村にあります植村整形外科クリニックの西尾隆太郎です。

出身地は日本海側、砂丘や冬の味覚松葉ガニで知られる鳥取県で、平成10年に鳥取大学を卒業しました。

平成12年より中山凱夫先生ご指導の下、筑波大学及びその関連施設で形成外科医として勤務いたしました。その後、研修の一環として水戸医療センター整形外科でお世話になった際、整形の面白さに惹かれ、平成19年に整形外科へ転科し現在に至ります。

今回、現副会長 小宅雄一郎先生からぜひにと入会のお誘いを受けました。小宅先生は水戸医療センター時代の私の指導医であり、大変尊敬する先輩です。真夜中の外傷手術を二人でまわしていたのがつい先日のように思い出されます。

現在当クリニックでは院長の植村渉先生との2診体制で診療を行っています。土地柄多い勤労世代の腰痛関節痛、小児のスポーツ外傷、骨粗鬆症、また交通事故等幅広く対応しており、地域のかかりつけ医としてのやりがいを日々感じております。

最近、何か新しい趣味を見つけねばと思い立ち、2級船舶免許を取得しました。船上での操作は思うようにいかず苦戦しましたが新鮮な経験でした。これまで漂泊するようなふらふらとした人生を歩んできたような気がしますが、諸先輩方を見習いあらたな航海に出たいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何とぞよろしく願いいたします。

## さかい整形外科

## 酒井 晋 介

この度、茨城県臨床整形外科医会に入会させていただきました酒井晋介と申します。私は茨城県牛久市出身で1997年に筑波大学医学専門学群を卒業した後に筑波大学整形外科に入局させていただきました。入局後は筑波大学附属病院、取手北相馬保健医療センター医師会病院、筑波メディカルセンター病院、高萩協同病院といった茨城県の病院で整形外科医として勤務してまいりました。また、2008年から3年間はいちはら病院で、2011年から約9年間は東京医科大学茨城医療センターで、脊椎外科を専門とする整形外科医として脊椎疾患、外傷の専門診療を行ってまいりました。2020年9月には、これまでの経験を生かして地域に密着した診療をしたいと考え、つくばエクスプレスみどりの駅前のみどりのメディカルモールで「さかい整形外科」を開院させていただきました。周囲の人々に助けをいただきながら、地域の皆様の健康維持及び増進への貢献を目指して日々の整形外科診療を行っております。茨城県臨床整形外科医会の皆さま、今後とも末永くよろしくお願い申し上げます。

## つくば村井整形外科クリニック

## 村 井 伸 司

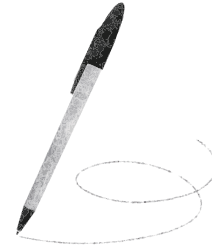
初めまして、茨城県つくば市、つくば村井整形外科クリニックの村井伸司と申します。私は2005年に筑波大学医学専門学群を卒業し、これまで筑波大学整形外科で研修を積んでまいりました。関連病院や市中病院での勤務を経て、2022年11月につくば市天久保、大学病院のお膝元で開業し、日々診療させていただいております。クリニック開業後は手術治療からは離れておりますが、正しい診断を行うことを心がけ、小児から高齢者、疾患、部位を問わず、運動器疾患の保存治療を中心とした地域医療を担っていく所存です。

また、院外活動として、出身部活である筑波大学アメリカンフットボール部の試合への帯同を行っております。日々の大型犬の散歩で体力の維持を心がけ、永く診療できるよう目指してまいります。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。



## 編集後記



この3～4年間猛威をふるっていた新型コロナウイルス感染症が5類になり、少しずつ今までの日常が取り戻せるかと思いはじめた昨年末でしたが、新しい年を迎えての1日目に能登半島地震という未曾有の震災で始まった令和6年となりました。

我が茨城県も東日本大震災も経験したので、それを思い出された方も多いのではないかと思います。その後の台風や水害などの自然災害も多く経験しましたので、それぞれの経験を思い出しながら、今回のTVや新聞などの情報を見ているところです。

簡単にはいかないかとは思いますが、被災地の方々の安寧と日常ができるだけ早く取り戻されるよう遠くからお祈りさせていただきます。さて、今回は渡邊前会長から星会長に変更に

なったタイミングでの会誌でしたのに、発行が遅くなり申し訳ありません。寄稿いただいた先生方御協力ありがとうございました。

渡邊前会長いろいろありがとうございました。星会長これからもよろしくお願いします。また、今回の会誌から会員名簿（所属医療機関情報含め）を入れさせていただきました。

もしお知り合いの先生で入会されていたり、もし知らない先生がいらっしゃいましたら、是非とも入会を勧めていただければ幸いです。

厚生労働省の整形外科開業医いじめはこれからも続くとは思いますが、我々の出来ることをコツコツと続けていくしかないのかと思う今日この頃です。これからもお付き合いのほどよろしくお願いいたします。

広報委員長 早船 徳子